



表紙写真

大石公園のゆり
(那覇市識名)

大石公園のゆりは、那覇市から公園管理を任せられた地域住民が、2007年から球根の植付け・草取りなどを行なながら大切に育ててきたもので、現在、1万輪のゆりが植えられています。

去った4月には、咲き誇るゆりの花をバックに「第1回大石公園ゆり祭り」が賑やかに開催されました。

Muribushi

5月★6月号 2013年

CONTENTS

01	地域の目 「君は一人じゃない」	シンガーソングライター しおり
特集	02 特集1	沖縄フロンティア戦略会議について
	04 特集2 農林水産部	久米島のアリモドキゾウムシの根絶達成
仕事の窓	06 仕事の窓1 財務部	第36回 法人企業景気予測調査
	08 仕事の窓2 開発建設部	わった一島の渋滞改善さびら
	10 仕事の窓3 経済産業部	沖縄の中小企業の経営力強化に向けて
	11 仕事の窓4 経済産業部	認定経営革新等支援機関を活用した中小企業施策
	12 仕事の窓5 運輸部	第16回沖縄地区舟艇利用振興対策連絡会議を開催
	13 内閣府だより	
	14 なかゆくい	
	16 総務部	「東日本大震災から考える」(沖縄総合事務局の取組)
	17 財務部	「地域密着型金融に関するシンポジウムinおきなわ」を開催
	農林水産部	肉用牛改良に係る技術研修会の開催
	18 経済産業部	「ものづくりフォーラム」を開催
	経済産業部	「先輩に聞きたい！女性起業家を囲んでの座談会」を開催
	19 経済産業部	第5回沖縄感性・文化産業シンポジウムを開催
	開発建設部	平良港(漲水地区)複合一貫輸送ターミナル(改良)事業の整備に着手
	20 開発建設部	「足場からの墜落・転落災害防止に関する説明会」を開催
	運輸部	「まちま~いセミナー」を開催
	21 運輸部	交通工コロジー教室の開催
	21 お知らせ	

沖縄の公共施設の ゆれたく紹介

#1

沖縄美ら海水族館

沖縄総合事務局は、1972年の本土復帰後、沖縄県内の道路、ダム、港湾、空港や公園などの公共施設を整備してきました。その中にはあまり知られてはいませんが、実は、その規模や工法などが、日本一や日本初、世界一や世界初となっているものが少なくありません。

そこで、今回から6回にわたり、沖縄総合事務局所管の公共施設に関する「うんちく」を紹介します。

さて、最初に紹介するのは、「沖縄美ら海水族館」です。沖縄の観光では外すことのできない施設となっており、御覧になった方も多いと思います。巨大なアクリルパネルの水槽「黒潮の海」は沖縄の海を再現しており、そのスケールの大きさが圧巻です。「黒潮の海」の大水槽の大きさは、深さ10m、幅35m、奥行き27m、容量は7,500m³で、数ある日本の水族館の中でも「日本一」となっています。また、そのアクリルパネルの大きさも高さ8.2m、幅22.5m、厚さが60cmで、こちらも日本一となっています。実はこのパネルは完成当時は世界一を誇り、ギネスブックにも掲載されました。

また、ナンヨウマンタ（通称マンタ）の長期飼育に世界で初めて成功し、2007年6月に飼育下における繁殖も世界で初めて成功しました。以来4年連続で繁殖に成功し、世界でも4例しかない繁殖がすべて「美ら海水族館」で行われました。他にも成体は最大14mになるという世界最大の魚類であるジンベエザメの飼育も世界最長を記録しています。

沖縄美ら海水族館（参考）

供用開始：平成14年11月

平成24年度入館者数：約281万人



「黒潮の海」大水槽